

上野図書館	上野丸之内 40-5	☎ 21-6868
西柘植公民館図書室 (ふるさと会館いが内)	下柘植 6243	☎ 45-9122
島ヶ原公民館図書室 (島ヶ原会館内)	島ヶ原 4739	☎ 59-2291
阿山公民館図書室 (あやま文化センター内)	川合 3370-29	☎ 43-0154
大山田公民館図書室 (大山田教育センター内)	平田 3154	☎ 47-1175
青山公民館図書室 (青山公民館内)	阿保 1411	☎ 52-1110

図書館だより

Library Information



11月の読み聞かせ

おはなしの会

11日(土) *小さい子むき
25日(土) *大きい子むき
午後2時~30分程度

上野図書館 2階 視聴覚室

「大きな絵本」の読み聞かせ会

15日(水) 午前10時30分~20分程度
青山公民館図書室 絵本コーナー

えほんの森

15日(水) 午後3時~30分程度
上野図書館 2階 視聴覚室

*読み手 おはなしボランティアグループ「よもよも」

読み聞かせの会

19日(日)、21日(火)
午前10時30分~30分程度

阿山公民館図書室 読み聞かせ室

おはなしたいむ

29日(水) 午前10時30分~20分程度
大山田公民館図書室 絵本コーナー

絵本の時間

*12月6日(水) 午前10時~1時間程度
ふるさと会館いが小ホール

☆絵本の読み聞かせ、紙芝居や手遊びなどをします。

新着図書紹介(上野図書館)

■一般書

『LOVE in Alaska 星のような物語』(星野道夫/著)

写真家・星野道夫が取材中にヒグマに襲われ、急逝したのが1996年のこと。それからちょうど10年の節目にあたり、未発表写真を含む新しい写真集が発表されました。星野道夫が愛した雄大なアラスカの風景、そこに生きる人々や動物たちの迫力ある写真が満載です。

『木的一句』(三重県俳句協会 他/編)

三重県が発信する全国俳句募集の第11弾テーマは「木的一句」。この本には応募総数約10万4000句の中から選ばれた約5300句が掲載されています。芭蕉のおひざ元である伊賀市の方々の作品もたくさん選ばれていますので、ぜひ一読を。



■児童書

『じょうぶな頭とかしこい体になるために』(五味太郎/著)

「かしこい頭とじょうぶな体」を作るための訓練や方法は世の中にたくさんあるけど、頭をじょうぶにし、体をかしこくするためのものは不足している!「外国人になりたい」「友だちができない」など、子どもの疑問や悩み50項目に対して、絵本作家の五味太郎がユーモラスかつ真剣に回答します。

『1970年代の日本と今の日本』(PHP 総合研究所/監修)

今の日本は、お父さん・お母さんの子ども時代と比べてどう変わったのか?「高齢者の数」「電化製品の普及率」「学校の授業時間」「日本で暮らす外国人の数」など、さまざまな分野のデータを基にして、約30年前と現在とを比較しています。日本の社会や生活がどのように変化したのか、数字で確認してみましょう。



「世間がなあ」そう言うあなたが世間です

差別や人権侵害がいけないのはわかっているはずなのに、なかなか後を絶ちません。言い換えれば、それが今日の差別の特徴といえます。

「頭の中では解っているんだけど」、「心情的にも解るよ」けれども「差別発言を目の前で見聞きしたとき何も言えない」という人がいます。これは、今までの人権・同和教育は「気づき」の部分だけで終わってしまつて、差別問題の解決を自らの問題として捉え、「行動」に移そうとする意欲を形成できなかったからだと考えられます。差別発言や行動に対して「それはおかしい」と指摘できなくて正しい知識や理解を持っていても意味を成しません。

明日に向かって

~差別をなくしていくために~

こうした人たちは「常識」や「タテマエ」として差別はいけないことはわかっていますが、自分のまわりには「ホンネ」の持ち主が多くいて、「世間は差別を黙認しているのだ」という思い込みがあるので「指摘できない」でしょう。この「ホンネ」は「世間体」に支えられています。そして「世間体」

の最たるものが結婚差別です。「同和地区出身であるかどうか気にならない」という人も多くなりましたが、「同和地区の人とは関わりたくない」という親や親戚、世間体を気にするあまり結婚を認めないというケースがまだまだあります。この「親・親戚・世間体」を理由に挙げるのはなぜなのでしょう。実は「私がかまわないが、周りが反対するので」と「世間」に責任をなすりつけて、自分の心の奥底にある差別心をオブラートに包んで結婚差別をしているにほかなりません。「世間」が変われば、「社会」が変われば、人の考えも変わると言われています。しかし、まず始めに自分の心の中にある世間とは何か、差別とは何かを考えてみませんか。

今、市内の各地域で人権啓発地区別懇談会を開催しています。世間はどんな考えを持っているのかを確かめながら、世間の一員である自分自身の意識を問い直してみよう。

■このコラムは毎月1日号でいろいろなテーマで人権についてお話しています。

ご意見等は本庁人権政策課 ☎ 22-9631 ✉ jinken@city.iga.lg.jp へ